

## よくあるご質問

トゥワイス・プランのプログラムにご興味を持たれた先生方からよくいただく質問と回答をまとめました。

### Q どのような教科で取り組まれていますか？

A 情報、総合学習、探究、LHRの時間が多く、道徳、国語、公民、宗教などでも取り組まれています。また、夏休みの特別講座や部活動での取り組み例もあります。

### Q 対象の学年は何年生ですか？

A 中学1年生から高校3年生が対象です。中高で同じワークに取り組んで、合同で発表会を開く学校もあります。(別途大学用プログラムもあり、高大連携での取り組みも可能です)

### Q 料金はいくらくらいですか？

A ワークによって異なりますが、生徒1人あたり2,000-3,000円前後で実施いただけます。学校の予算に応じて最適なプランをご提案しますので、お気軽にお問い合わせください。

### Q 生徒全員にPCやタブレットが必要ですか？

A 全員が持っていない場合でも、チームに1台あれば取り組みます。スマホを使う学校も多くあります。インテンシブワークでは、ICTを使わず模造紙などでプレゼンする学校もあります。

### Q 進路指導や受験対策ではどのように活かされますか？

A 活動の中で自分の特性を見つけ、自己肯定感が増すため、進路意識が大きく向上した例が多数あります。「サマー・スクール」「TWICEリーグ」「トゥワイス・アワード全国大会」の修了証や賞状、取り組みの成果は、AO・推薦(総合型/学校推薦型選抜)入試に活用され、実績をあげています。

## TWICE PLAN

お問い合わせ

株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュート  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町1-11-804  
Tel 03-6861-3553 / Fax 03-6861-3554  
Mail info@twiceresearch.jp  
https://twiceresearch.jp  
TWICE PLAN https://twiceplan.jp



### Q どのくらいの時間で取り組めますか？

A 最低3時間から取り組みます。1コマ45～50分の授業を週1×3回実施したり、1日完結も可能です。また、10時間以上かけて1年間じっくり取り組んでいる事例もあります。コーディネーターが、学校の状況に合わせた実施方法をご提案します。

### Q 最低何人から実施できますか？

A 取り組み初年度のみ5名から実施できます。2年目以降は100名からとなります。初年度を公募または一部コース等で実施し、2年目以降学年全体で取り組むケースもあります。

### Q スタートはいつからがよいですか？

A いつからでもはじめることができます。4、5月の年度はじめ、2学期、3学期からなど、区切りのいい時期からのスタートのほか、他の授業日程との兼ね合いで期の途中からはじめることもできます。

### Q 学校で準備しておくことはありますか？

A 特にありません。オリエンテーションや事前研修、ガイドで授業の流れや内容をご確認いただき、時間数や教室の確保、担当の先生を決めていただいでスタートとなります。

### Q グループワークに慣れていない生徒でもできますか？

A ワークブックに沿って進めるだけで、無理なくグループワークを進められるようになっています。魅力的な課題とスモールステップで、どの学校でも楽しみながら大きな成果が上がっています。

### Q 学校の広報でこの取り組みを紹介してもいいですか？

A はい。実際に学校の特徴ある取り組みとして、ホームページやパンフレットで紹介している学校もあります。広報支援として、活動をまとめた冊子やウェブサイトの制作をさせていただくことも可能です。

### Q 探究学習をはじめる前に、教員全体の意識改革をしたいのですが…

A 探究学習実践のための教員研修プログラムをご用意しています。探究学習に関する知識や技術を先生方が共有することは、教員間の連携強化と、スムーズな授業運営の基盤になります。



本物の「探究」の実現へ。

トゥワイス・プランは、中学・高校の探究学習で活用いただける実践的なPBLプログラムです。社会とつながり、生徒がモチベーション高く取り組める多彩なワークで、オンライン/オフライン両方での「探究の学び」の準備と本格的な実施をサポートします。

チームで繰り返し課題解決に取り組むスタイルは、協働しながら知識・技能を生かし、思考力・判断力・表現力を身につけるトレーニングに最適です。併せて、先生方に向けた効果的な探究学習のための研修もご提供します。

A new style education for school

TWICE PLAN

GIGA SCHOOL

# いま学校教育に求められている「探究的な学び」はどのように実現するのか？

ものごとを探り、究める姿勢は、学問には欠かせないものです。

いまその本来的な学び方を、中学・高校の授業で強化し、実現していくための準備がはじまっています。

それは同時に社会で必要とされる姿勢でもあります。

多くの仕事が高度化し、先の予測も難しい現代。情報も手段も飽和状態という背景で求められるのは、主体的に課題を解決し、新たな答えを自ら創造する姿勢です。

そのときに使う力こそが「探究力」と言えるでしょう。

## 探究学習をめぐるさまざまな課題

総合探究に先行した総合学習。この取り組みに期待された課題発見・解決力の育成は、学校の体制や学びのテーマ設定、PBL教材、ファシリテーションスキルなどが整わないままでは難しいものでした。さらに一歩進んだ探究を実現するには、そういった学習の背景を整える必要があります。

脈絡のない雑多な課題解決プログラムを生徒に与え続けることで、かえって自ら探究しようという意欲が失われるケースが多発。がんばった学校ほどこの問題を抱えてしまうといった課題もあり、いま改めてさまざまな整備をしていく時期を迎えています。

## 先生方に伺った「探究学習」に関する課題

改革が進む現在、探究学習の準備を進める先生方にお話を伺うと、たくさんの課題があることがわかります。各地でリサーチした先生方の声をいくつかご紹介します。

- 01 「ポートフォリオ」や「探究」も国や学校の方針としてやることになり取り組んでみたが、「これを教えればいい」という類のものではないので、表面的な探究の流れだけをやらせてしまった。生徒もモチベーション高く取り組みず成果が出なかった。(東京都・私立中高一貫校)
- 02 調べたり資料を作成したりと、本来探究学習は端末と相性がいいはずだが、GIGAスクールで端末だけあっても探究に活用できるソフトはほとんどない。(兵庫県・公立中学校)
- 03 教科でも探究が求められているが、探究学習に関するそもそもの知識が欠けているので、教科の探究どころか総合探究の準備もままならない。外部のプログラムもいろいろあるが、どう組み合わせればいいのかを判断するのが難しい。(東京都・私立中高一貫校)
- 04 休校の影響で、話し合いではなく文章で自分の意見を伝えることで思わぬ成長を見せた生徒がいた。今後も急に対面での授業ができなくなることや今後の社会に出たときのことも想定して、オンラインで探究活動ができるような環境をつくりたい。(千葉県・公立高校)
- 05 成績優秀な生徒だけがするのは探究学習ではない。探究を経ることで学ぶ意欲を向上させるのが目的。ただ課題に取り組むのではなく、学び方の根本を学ばせたい。(大阪府・私立高校)
- 06 探究学習をやる先生が一部に限られるという考えを何とかしないといけない。教員の意識改革も重要。(兵庫県・私立中高一貫校)

※トウワイス・リサーチ・インスティテュート調べ

## すべての基点となる最も重要な「主体性」

探究という姿勢、その学び方を実現するために必要なものは、「生徒の主体性」です。実はこの主体性があれば、探究学習を進めるためのほとんどすべての問題が解決します。

当事者意識が高いとき、人は自然と自らものごとを追及していくもの。生徒たちの主体性を引き出すことに着目すれば、探究学習は飛躍的な達成を得ることができるのです。

## トウワイス・プランの学びは生徒の「主体性」を重視しています

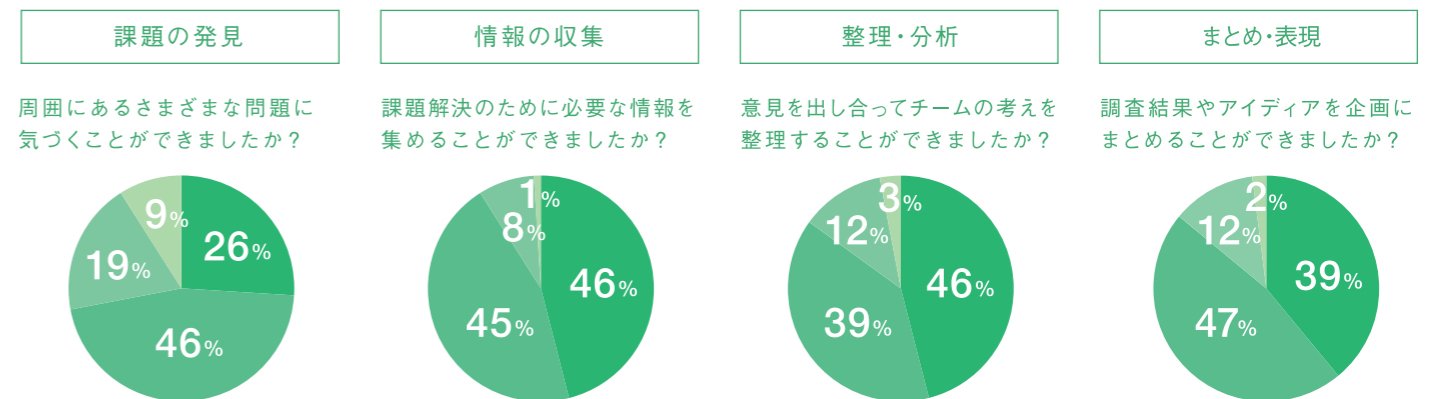
年間をとらして学校の授業で取り組むことのできる「トウワイス・プラン PBLプログラム」は、継続的、計画的に学ぶことのできる体系立った学習プログラムです。

社会的背景を踏まえ、学校の状況や環境、目的に合わせて取り組みやすいように設計されているため、中学、高校、大学での正規の授業や講座で高い成果を上げています。

このプログラムで学んだ多くの生徒・学生たちは、実施後のアンケートで、実社会の活動に必要なさまざまな力を主体的に身につけることができたという回答をしています。

## 実施後のアンケート結果

■ とてもよくできた ■ できた ■ 少しできた ■ できなかった



※トウワイス・リサーチ・インスティテュート調べ

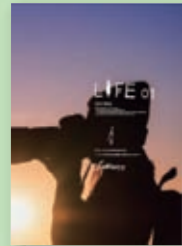


## 『I 探究学習プログラム インテンシブ』 ラインナップ

短時間で、本格的に探究の基本が学べるシリーズです。実社会のテーマにもとづく“テーマワーク”、実践的なスキルの習得に取り組む“スキルワーク”。どちらも、生徒にとって“実社会につながる納得感”のある題材です。チームで課題に取り組み、スモールステップで体験を積み重ねながら、将来に向けて、本当に使える自分の力を身につけていきます。

### Theme LIFE

#### 『人間ドキュメンタリー』ワーク Intensive



さまざまな分野で活躍した人の人生を題材に、「人間ドキュメンタリー」をつくるワークです。チームで協力してそれぞれの主人公の歩みをたどり、リサーチとディスカッションを繰り返して作品を制作します。

**【身につく力】**  
進路意識の向上、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力



### Theme COMPANY

#### 『企業インターン』ワーク Intensive



日本を代表する企業のインターンとして、企業の課題に取り組むワークです。チームをつくり、インターン先企業を選んで、その会社の一員として企業のリアルな課題解決に取り組みます。

**【身につく力】**  
職業理解、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力、進路意識の向上



## インテンシブシリーズの教材・サポート

実施検討時から授業準備、授業スタート、終了に至るまで、専任のコーディネーターが先生方をサポートします。

年度末には、取り組みの成果を承認する「トゥワイス・アワード」を開催。各校が一堂に会する発表会を行い、賞を授与します。



### ワークブック・WEB教材

生徒が自発的に学べる学習教材をご提供します。



### プランニング

学校の目的・状況に応じた最適なプランをご提案します。

### 事前研修/オリエン

授業の流れを体験いただきながら理解を促進する事前研修を実施します。

### 夏休み特別講座『サマー・スクール』

実社会で必要なスキルを身につける特別講座です。

### 電話・メールでの運営相談

教材の使い方や授業の進行について、随時ご相談をお受けします。

### 全国大会

#### 『トゥワイス・アワード』

選ばれたチームは、企業人、特別審査員の前で取り組みの成果を発表する大会に参加することができます。



### 効果測定

取り組み終了後は、「振り返りシート」をもとに成果を確認します。

### POINT!

ワークのポイントはコチラ!

#### ●1 「Guide」が充実

インテンシブシリーズのワークブックは、要点と解説をまとめた「Guide」が充実。短時間でもスムーズにワークを進めることができます。

#### ●2 主役はいつも学び手自身

生徒たちはチームで助け合って学んでいきます。先生方は、生徒の学びを見守って伴走する支援者、ファシリテーターです。

**ワークの流れ** 探究学習に必要なプロセスを自然な流れで実現します。この共通した流れで、ワークを変えて繰り返しトレーニングができます。

### チームづくり

はじめに3～5人のチームを結成。チーム名や意気込みを発表し、自ら学ぶ姿勢をつくります。

### リサーチ&ディスカッション

課題解決に向けて、調査と話し合いを進め、整理・分析。対話から新たな気づきを得ます。

### プレゼン

取り組みの成果を発表。採点表をもとにプレゼンの相互評価をし、コメントも磨きます。

### 振り返り

チーム・クラスで活動を振り返り、新たな視点とこの先の課題、自分と仲間の力を発見します。

### Skill PRESENTATION

#### 『プレゼン』ワーク Intensive vol.1 トーク編



チームで設定した“トピック”についてのプレゼンづくりで、伝えるスキルをトレーニングするワークです。vol.1トーク編では、プレゼントークのコツを学び、何度も繰り返し実践しながら聞きやすく魅力的なプレゼンを目指します。

**【身につく力】**  
自己表現力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力、チームワーク力、情報収集・活用力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報モラル、進路意識の向上



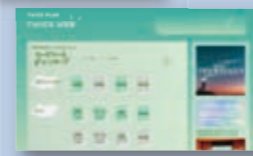
### Skill PRESENTATION

#### 『プレゼン』ワーク Intensive vol.2 スライド編



聞く人にとって価値ある“トピック”をプレゼンする過程で、整理する力をトレーニングするワークです。vol.2スライド編では、プレゼンの構成術やスライドデザインのコツを学び、わかりやすく整理されたプレゼンづくりにチャレンジします。

**【身につく力】**  
自己表現力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力、チームワーク力、情報収集・活用力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報モラル、進路意識の向上



## 『Ⅱ探究学習プログラム オンライン』ラインナップ

オンラインで探究学習ができる新シリーズです。専用サイトに沿って生徒自身が楽しみながら主体的に取り組める、“初めての探究PBL”と“探究力を測る”2つのワーク。学校の状況に応じて、オフラインでも、オンラインでも活用できます。チームで課題を発見して、調べる・まとめる・共有するなど、タブレットやPC、スマホを活用した学習にも最適です。

**FOR ETERNAL EARTH** 地球環境や世界と自分との関係を題材に、チームで課題発見・解決に取り組みます。

### オンラインで 探究・PBLの学びができる

『FOR ETERNAL EARTH』は、SDGsをはじめ、「地球環境」「グローバル」といった、初めてでも取り組みやすいテーマで探究できるワークです。活動を通じて環境やグローバルの視点・知識を身につけ、社会課題の解決をシンプルなステップで体験。この先につながる探究の基礎力を得ます。

#### 【身につく力】

問題発見・解決力、情報収集・活用力、チームワーク力、コミュニケーション力、情報モラル、プレゼンテーション力、セルフマネジメント力、進路意識の向上



## 『FOR ETERNAL EARTH』の 教材・サポート

ワークは専用サイトに沿って、生徒自身が楽しみながら主体的に取り組めます。短期間で、探究学習の基本の活動と、意欲・姿勢の土台を身につけることができます。

※『FOR ETERNAL EARTH』は、各校1回のみ実施可能です。2回目以降のオンライン探究は、『TWICE LEAGUE』をご利用ください。

### WEB教材

生徒が自発的に学べる学習サイトが用意されています。教室でも自宅でも場所を選ばず取り組みます。



#### POINT!

3ステップで探究できる!

3ステップで集中して探究の基本を学べます。

### 運営ガイド(先生向け)

授業運営に必要な準備や手順についてまとめたガイドをご提供します。

Google Workspace for EducationやOffice 365等のグループウェア、Microsoft SurfaceやChromebookなどのモバイルデバイスと相性がよく、GIGA時代のオンラインプログラムとしての活用が可能です。

**ワークの流れ** オンラインでも無理なく探究学習のプロセス(①課題発見 ②情報収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現)に取り組めます。

#### ログイン

はじめに4~6人のチームを結成。アカウントをつくり、専用サイトにログインします。

#### 課題を受け取る

サイト内で探究の課題を受け取ります。チームで役割やスケジュールを決めて、取り組みスタート。

#### チームでワーク

調べたことをチームで話し合い、整理・分析。対話から課題に対する新たな気づきを得ます。

#### 課題を提出

取り組みの成果をサイトのフォームで提出。活動を振り返り、今後の活動につなげます。

**TWICE LEAGUE** シーズンごとに出される課題にチームでチャレンジして、「探究力」をトレーニングします。

### 「探究力」を鍛えて、 スコアで実力を確認

4ヶ月間のシーズンごとに“チャレンジ”と呼ばれる課題が出され、思考力・判断力・表現力・読解力などの総合的な探究力を鍛える有効なトレーニングができます。全国の中高生とオンライン上で同じチャレンジに取り組み、スコアとランキングをGET。自分たちのレベルが今どのくらいなのかを知ることができます。

#### 【身につく力】

論理的思考力、問題発見・解決力、情報収集・活用力、チームワーク力、コミュニケーション力、情報モラル、プレゼンテーション力、セルフマネジメント力



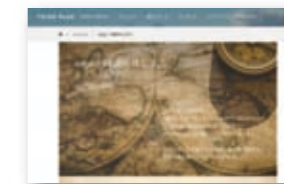
<https://twice-league.jp/>

## 『TWICE LEAGUE』の 教材・サポート

ワークは専用サイトに沿って進めていきます。課題、ガイドともにサイト上にありますので、特別な準備がなくても探究の学びに取り組むことが可能です。必要な情報は適宜メールでお知らせが届き、個別質問にも対応しています。取り組みの成果としての「スコア」で、客観的な振り返りもできます。

### WEB教材

生徒が自発的に学べる学習サイトが用意されています。教室でも自宅でも場所を選ばず取り組みます。



#### POINT!

探究の力を試せる!

終了時には「ランキング」も発表。自分たちの実力がわかります。

### 運営ガイド

授業運営に必要な準備や進行手順をまとめたガイドが、専用サイトで閲覧できます。



### スコア

チャレンジ終了後には、チームごとに評価を数値化した「探究力スコア」が配布されます。

